

平成29年度特別支援教育に関する実践研究充実事業
(次期学習指導要領に向けた実践研究)

I 研究の概要

1 研究主題

「分かる、できる、振り返る」授業づくり（二年計画一年次）

2 研究主題の設定理由

本校は平成4年に大曲養護学校として開校し、平成28年度より大曲支援学校と校名を変更し、平成29年度で創立26年目を迎える。今年度は131名（小学部34名、中学35名、高等部62名）の児童生徒が在籍している。目指す学校像として「瞳かがやき、笑顔あふれる学校」を掲げ、児童生徒の積極的な社会参加、職業自立を目指した教育活動を行っている。地域の要請を受けて学校が設立された経緯があり、開校当初から地域に根ざした学習活動、地域における感謝される体験を重視して実施してきたことが特色である。

平成24年度から27年度まで「『つくる活動』の授業づくり」を研究主題に、小学部では主にカレンダーの制作・配付、中学部・高等部では作業学習製品の販売や地域での除雪作業等を通して地域での活動を行ってきた。平成28年度は、児童生徒のより主体的な学びを目指し、「児童生徒が『気づき、考え、判断する』授業づくり」を研究主題として、つくる活動を中心とした実践に取り組んできた。

今年度の学校経営の重点事項に「自立を目指した『できる状況づくり』の定着・拡充」が設定された。これまでの実践で、児童生徒の「できる」が決められた学習場面のみであったり、「できたこと」を他の場面に生かすことが難しかったりすることから、児童生徒が目的意識をもち、さらに主体的に取り組み、学びを実感することが課題として挙げられた。児童生徒が「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」、「何を学んでどのような力が付いたか」と実感できる「分かる、できる、振り返る」授業づくりが「できる状況づくり」の定着・拡充につながると考え、本研究主題を設定した。

また、次期学習指導要領に向けて、「社会に開かれた教育課程」、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえ、昨年度までの研究から出された授業づくりの課題から「授業づくりの視点」を作成し、これを基に日常的な授業実践を通して、評価、改善を行う。また、授業実践を通して教育課程の改善を進める。

授業づくりの視点	
分かる (何を学ぶか)	・見通しのもてる年間指導計画、単元計画、学習計画 ・学習環境(板書も含む)授業の構造化 ・目標、めあて、学習課題の明確な提示
できる (どのように学ぶか)	・児童生徒のグルーピング、教師の数、配置の工夫 ・児童生徒が考えてできる学習場面の設定、教材教具の工夫 ・児童生徒が考えるきっかけとなる発問の工夫、精選
振り返る (何を学んだか、どんな力が付いたか)	・まとめ、振り返り活動の設定、方法の工夫 ・評価の場面、評価方法の工夫

3 研究の目的及び目標

- (1) 児童生徒が学びを実感できる授業づくりの充実
 - ・「授業づくりの視点」による授業改善をする。
 - ・次期学習指導要領に対応した教師の授業力向上を図る。
- (2) 授業実践を通じた教育課程の改善
 - ・地域資源の活用，感謝される体験などの学校の特色を生かした活動の教育課程上の位置付けと学習の目標を明確にする。
 - ・学校経営目標に基づいた教育課程の編成，実施，評価，改善の充実を図る。

4 研究仮説

「授業づくりの視点」を基に，日常的に授業実践，評価，改善を積み重ねていくことで，児童生徒の「できる状況づくり」の拡充が図られ，学校の目指す児童生徒像が実現し，教師の授業力の向上を図ることができる。

5 研究内容・方法

- (1) 「授業づくりの視点」による授業改善
 - ①学部授業研究会，全校授業研究会，公開研究会の実施
 - ・生活単元学習を対象とした授業提示，協議
 - ②年間指導計画検討会の実施による定期的な評価，修正
 - ・個別の指導計画と年間指導計画の目標，指導内容の整合性の確認
 - ・年間，単元，小単元の目標と指導内容のつながりの確認
 - ・単元間の関連性，連続性，他教科等との関連性の確認
 - ・単元における地域との関わり方の検討
 - ③学習環境，授業の構造化
 - ・目標，めあて，学習課題が提示され，まとめ，振り返りのある授業づくり
 - ・学習過程が分かる板書づくり，画像による板書計画，板書記録を活用した評価
 - ④目標，めあて，学習課題の明確な提示
 - ・まとめにつながるめあての設定
 - ・児童生徒の問題発見，学びの動機付けになるめあての提示の仕方の検討
 - ⑤児童生徒のグルーピング，教師の数，配置の工夫
 - ・教師の動線，配置図の作成による，教師の支援の量，タイミングの最適化の検討
 - ⑥児童生徒が考えてできる場面の設定
 - ・考えるきっかけとなる発問の工夫，精選
 - ・できるだけ一人で取り組める課題の設定，教材教具の工夫
 - ⑦児童生徒が学びを実感できる振り返り活動の設定
 - ・評価の場面，方法の工夫
 - ・即時評価とまとめ，振り返りのつながりの検討
- (2) 「日々の授業改善協議」による授業改善
 - ①各授業者1回以上の授業提示，協議
 - ②出された成果と課題の「授業づくりの視点」への反映
- (3) 授業実践を通じた教育課程の編成，実施，評価，改善
 - ①研究部，教務部との連携による授業実践の成果と課題の教育課程への反映
 - ②教育課程検討委員会と教科，自立活動，進路学習各部会による，個別の指導計画，年間指導計画の目標，指導内容の検討，改善

II 研究計画と評価計画

1 研究計画

	実施時期	実施内容		
第一 年次	平成29年 4月	・全校研究会① ・学部研究会①	・全職員での研究主題，方向性の確認 ・各学部の研究の方向性の検討	
	5月	・学部研究会②	・研究対象となる生活単元学習の年間指導計画の指導内容の検討	
	6月	・学部研究会③ ・全校研究会② ・指導主事計画訪問	・学部研究の共通理解 ・全職員での学部研究の方向性の共通理解 ・生活単元学習を中心とした授業提示，評価	
	7月	・学部研究会④	・1学期までの授業実践を通じた指導計画，指導内容の見直し	
	8月	・教育課程検討委員会①	・1学期までの授業実践を通じた教育課程の評価検討	
	9月	・学部研究会⑤ ・第3回全校授業研究会 (中学部) ・教育課程協議会報告会 ・研究，教務主任会	・「授業づくりの視点」の評価，改善 ・授業提示，協議，学部研究の進捗状況の報告 ・全職員への新学習指導要領の要旨の報告 ・全校授業研究会，教育課程検討委員会の評価を 基にした，授業づくりの具体的な改善方法の検討	
	10月	・公開研究会事前研究会 ①(高等部) ・公開研究会事前研究会 ②(中学部)	・公開研究会に向けた授業提示，協議，学部研究 の進捗状況の確認	
		・全校研究会③	・公開研究会に向けた全校研究，各学部研究の進 捗状況の共通理解	
	11月	・公開研究会事前研究会 ③(小学部) ・研究，教務主任会	・公開研究会に向けた授業提示，協議，学部研究 の進捗状況の確認 ・公開研究会事前研究会の評価を基にした教育課程 ，授業づくりの具体的な改善方法の検討	
	12月	・公開研究会 ・研究，教務主任会 ・教育課程検討委員会②	・授業提示，協議 ・全校，学部研究進捗状況の報告 ・公開研究会の評価を基にした教育課程，授業づ くりの具体的な改善方法の検討 ・教育課程の評価，改善事項整理	
	平成30年	1月	・学部研究会⑥ ・研究，教務主任会	・今年度の研究の成果，課題のまとめ ・教育課程
		2月	・全校研究会④	・研究のまとめと次年度の方向性の確認
		3月	・学部研究会⑦ ・教育課程検討委員会③	・次年度の方向性の確認 ・次年度の教育課程の立案，確認
	・日々の授業改善協議 (今年度75回実施予定) ・年間指導計画検討会 ・県南特別支援学校教育課程協議会	・授業者一人1回以上の授業提示，協議の実施 ・生活単元学習の中心単元の学習計画立案 ・県南地区特別支援学校間の教育課程，研究に関 する情報交換		
第二 年次	平成30年度	・第一年次の研究の成果，課題を基に研究の内容，方法，「授業づくりの視点」 ，教育課程の改善，実施をする。 【主な実施内容】 ・全校研究会 ・学部研究会 ・公開研究会 ・日々の授業改善協議 ・教育課程検討委員会 ・県南特別支援学校教育課程協議会		

2 評価計画

	実施時期	実施内容
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 指導主事計画訪問 生活単元学習を中心とした授業提示, 評価 今年度の研究についての評価
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 学部研究会④ 1学期までの授業実践を通した指導計画, 指導内容の見直し
		<ul style="list-style-type: none"> 教育課程検討委員会① 1学期までの授業実践を通した教育課程の評価検討
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 学部研究会⑤ 第2回全校授業研究会(中学部) 実践を通した「授業づくりの視点」の評価 授業づくり, 学部研究への評価 アンケートによる外部参観者からの評価
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 公開研究会事前研究会①(高等部) 公開研究会事前研究会②(中学部) 授業づくり, 学部研究への評価 アンケートによる外部参観者からの評価
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 公開研究会事前研究会③(小学部) 授業づくり, 学部研究への評価 アンケートによる外部参観者からの評価
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 公開研究会 教育課程検討委員会② 授業づくり, 全校, 学部研究への評価 アンケートによる外部参観者からの評価 今年度の教育課程への校内評価
	平成30年2月	<ul style="list-style-type: none"> 全校研究会④ 学校評議員会② 授業づくりへの自己評価 今年度の研究への評価 学校評議員による研究推進への評価
		<ul style="list-style-type: none"> 学部授業研究会(各学習グループ1回) 年間指導計画検討会(単元終了毎) 年間指導計画検討会(年4回実施) 日々の授業改善協議 「授業づくりの視点」による評価, 改善策の検討 課題の「授業づくりの視点」への反映 各学年, 学習グループで年間指導計画, 単元計画の評価, 次単元への改善策の検討 学部内で年間指導計画の単元の実施状況評価, 次学期, 次年度に向けた検討 授業者のチェックリストによる自己評価, 次時への改善策の検討
第二年次	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 第一年次と同様の評価計画で実施する。第一年次の成果と課題を受け, 評価方法の改善を行う。

3 評価の観点(第一年次)

<p>(1) 児童生徒が学びを実感できる授業づくりの充実の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が何を学ぶのかが「分かる」ためにめあてが提示され, まとめてつながっていたか。 本時に何を学ぶか分かる「めあて」や何を学んだか分かる「まとめ」, どのような方法で学んだか分かる学習の過程が整理されて板書に示されていたか 授業づくりの中で「授業づくりの視点」が活用されていたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究会, 板書記録で評価 日々の授業改善協議で評価 授業者による自己評価
<p>(2) 授業実践を通した教育課程の改善の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課程検討委員会や, 教科, 自立活動, 進路学習各部会での課題が明らかになり, 具体的な改善の方策を見出して取り組めたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程検討委員会による評価

